



## CTI ルート ポイントの設定

Computer Telephony Integration (CTI) ルート ポイントでは、仮想デバイスを指定します。この仮想デバイスは、アプリケーションが宛先変更を制御している多重同時コールを受信することができます。

ファースト パーティ コールを制御するために、アクティブな音声回線ごとに CTI ポートをオプションで追加できます (CTI アプリケーションがこれを決定します)。CTI ルート ポイントおよび CTI ポートを使用するアプリケーションには、Cisco SoftPhone、Cisco IP Auto Attendant、および Cisco IP Interactive Voice Response System があります。Cisco CallManager Administration に CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、CTI Route Point Configuration ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco CallManager の名前が利用可能であれば、表示されます。

これらのアプリケーションに関連した CTI ルート ポイントおよび CTI ポートの設定方法については、各アプリケーションに付属の資料とオンライン ヘルプを参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの追加

CTI ルート ポイントを追加する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

**ステップ 2** **Add a New CTI Route Point** リンクをクリックします。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 56-1 を参照)。

**ステップ 4** **Insert** をクリックして、新規 CTI ルート ポイントを追加します。

回線 1 の電話番号を追加するように求められたら、**OK** をクリックして、電話番号を追加します。または、**Cancel** をクリックして、電話番号を追加せずに処理を続行します。電話番号の追加と設定の方法については、P.62-52 の「電話番号の追加」を参照してください。

Cisco CallManager Administration に CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、CTI Route Point Configuration ウィンドウ内に表示されます。使用可能な場合、デバイスの IP アドレスと、デバイスが登録されている Cisco CallManager の名前が、図 56-1 に示すように表示されます。

図 56-1 CTI Route Point Configuration ウィンドウ



56948

**関連項目**

- [CTI ルートポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルートポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルートポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルートポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルートポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルートポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルートポイントの変更

CTI ルートポイントを変更する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find/List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 変更する CTI ルートポイントの検索に必要な検索条件を入力します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルートポイントが表示されます。

**ステップ 4** 設定値を変更する CTI ルートポイントの名前を選択します。

ウィンドウがリフレッシュされ、選択された CTI ルートポイントの現在の設定値が表示されます。

**ステップ 5** 該当する設定値を更新します (表 56-1 を参照)。

**ステップ 6** **Update** をクリックして、変更内容を適用します。

ウィンドウの内容が更新され、新しい設定値が表示されます。

---

### 関連項目

- [CTI ルートポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルートポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルートポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルートポイントの検索 \(P.56-7\)](#)

- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの削除

CTI ルート ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

1 つ以上の電話番号に割り当てられた CTI ルート ポイントを削除できるので、CTI Route Point Configuration ウィンドウから **Dependency Records** リンクをクリックして、CTI ルート ポイントを使用している電話番号を決定する必要があります。Dependency Records がシステムで使用可能でない場合、Dependency Records - Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、[P.A-4 の「Dependency Records へのアクセス」](#)を参照してください。使用されている CTI ルート ポイントを削除しようとすると、Cisco CallManager はメッセージを表示します。

割り当てられている電話番号をもつ CTI ルート ポイントを削除する場合、Route Plan Report を使用して電話番号を検索できます。Route Plan Report を使用して電話番号を削除することもできます。

### 手順

---

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find/List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 削除する CTI ルート ポイントの検索に必要な検索条件を指定します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

## ■ CTI ルート ポイントの削除

**ステップ 4** 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除する CTI ルート グループの横にあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックする。
- ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて削除する場合は、Matching records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックする。
- 削除する CTI ルート ポイントの名前を選択して、現在の設定値を表示し、**Delete** をクリックする。

**ステップ 5** **OK** をクリックすると、CTI ルート ポイントが完全に削除されます。

---

**関連項目**

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの検索

CTI ルート ポイントを検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find and List Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。すべての項目を表示するには、検索テキストを入力しないか、検索条件として「Device Name is not empty」を使用します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

**ステップ 4** 次の CTI ルート ポイントのリストを表示するには、**Next** をクリックします。



**(注)** Find and List Route Points ウィンドウから複数の CTI ルート ポイントを削除するには、適切な CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックします。複数の CTI ルート ポイントをリセットするには、適切な CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにして、**Reset Selected** をクリックします。Matching records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにすると、ウィンドウ内のすべての CTI ルート ポイントを選択できます。

**関連項目**

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントのリセット

CTI ルート ポイントをリセットする手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

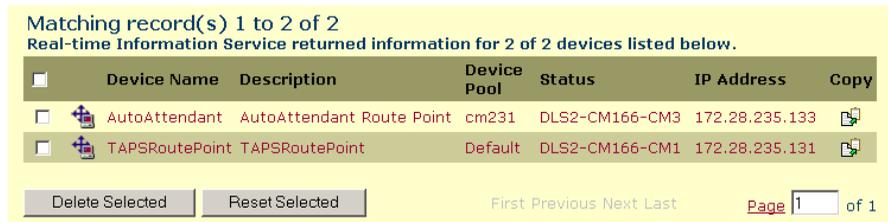
Find and List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

検索条件に一致する CTI ルート ポイントが、[図 56-2](#) に示すようにウィンドウに表示されます。

**図 56-2 Find and List CTI Route Points Configuration ウィンドウ**



Matching record(s) 1 to 2 of 2  
Real-time Information Service returned information for 2 of 2 devices listed below.

<input type="checkbox"/>	Device Name	Description	Device Pool	Status	IP Address	Copy
<input type="checkbox"/>	AutoAttendant	AutoAttendant Route Point	cm231	DLS2-CM166-CM3	172.28.235.133	
<input type="checkbox"/>	TAPSRoutePoint	TAPSRoutePoint	Default	DLS2-CM166-CM1	172.28.235.131	

Delete Selected    Reset Selected    First Previous Next Last    Page 1 of 1

**ステップ 4** リセットする CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて選択するには、Matching records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** **Reset Selected** をクリックします。

Reset Device ダイアログが表示されます。

**ステップ 6** 次のいずれかのボタンをクリックします。

- **Restart** : デバイスをシャットダウンしないで再起動する。
  - **Reset** : デバイスをシャットダウンしてから起動する。
  - **Close** : 何も実行しないで、Reset Device ダイアログを閉じる。
- 

#### 関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの設定値

表 56-1 では、CTI ルート ポイントの設定値について説明します。

表 56-1 CTI ルート ポイントの設定値

フィールド	説明
Device Name	このデバイスに固有の識別子を、1 ～ 15 文字（英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む）で入力します。
Description	CTI ルート ポイントの内容を表す名前を入力します。
Device Pool	デバイス プールの名前を選択します。デバイス プールは、自動登録用の CallManager Group、Date/Time Group、Region、および Calling Search Space を含む、このデバイスのプロパティの集合を指定します。
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、コーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、収集された（発信）番号のルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多の場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。<b>List items where Name contains</b> フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。<b>Select item to use</b> ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、<b>OK</b> をクリックします。</p> <p></p> <p><b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、<b>System &gt; Enterprise Parameters</b> の順に選択し、<b>CCMAdmin Parameters</b> を選択します。</p>

表 56-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
Location	このルート ポイントに適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、このルート ポイントが消費する帯域幅を把握しません。
Media Resource Group List	適切なメディア リソース グループ リストを選択します。メディア リソース グループ リストは、優先順位順に並べられたメディア リソース グループから構成されます。アプリケーションは、メディア リソース グループ リストで定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースの中から、必要なメディア リソース、たとえば、 <b>Music On Hold</b> サーバを選択します。  <none> を選択すると、Cisco CallManager は、デバイス プールに定義されているメディア リソース グループを使用します。  詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「メディア リソースの管理」を参照してください。
User Hold Audio Source	アプリケーションが保留操作を開始するときに再生されるオーディオ ソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオ ソースを選択します。  オーディオ ソースを選択しない場合、Cisco CallManager は、デバイス プールに定義されているオーディオ ソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオ ソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。  オーディオ ソースの定義は、 <b>Music On Hold Audio Source Configuration</b> ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、 <b>Service &gt; Music On Hold</b> の順に選択してください。

表 56-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
Network Hold Audio Source	<p>ネットワークが保留動作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco CallManager は、デバイスプールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイスプールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、Music On Hold Audio Source Configuration ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、<b>Service &gt; Music On Hold</b> の順に選択してください。</p>

#### 関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

■ CTI ルート ポイントの設定値